

That's 市民力



発行：長崎市民協働推進室 〒850-0022長崎市馬町21-1 TEL 095-829-1125 FAX 095-829-2925

THAT'S 市民力9月号

- 2017 自分新化講座 1
～第3回～
- 市民活動団体向け研 1
修
- 社会的課題発見講座 2
- ちゃんぼんミーティ 2
ング
- 外国人として日本の 2
社会人の世界を体験
しました

「社会的課題発見講座」とは・・・

市民活動団体が、先進的な取り組みを行っている社会起業家の講演を聞くことで、現在の活動に新しい気付きを得て、参加した団体の活動を変えるきっかけをつくることを目的とし、団体が考える社会的課題解決に向けた事業展開の参考になればと考え実施するものです。

11月8日(水)には講師に池内計司氏(IKEUCHI ORGANIC(株)代表)をお招きし、「誰も犠牲にしないモノづくりの達成にむけて」をテーマに開催します。ぜひ、ご参加ください。

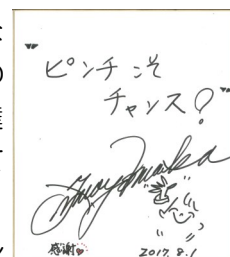
2017 自分新化講座 ～第3回～

地球はホントにまるいのか？ ービジネスから“いのち”へー

8月1日(火)、長崎伝習所2017「自分新化講座」の第3回を、長崎ブリックホール国際会議場で開催しました。講師は、NPO法人ガイア・イニシアティブ代表の野中ともよ氏。「地球はホントにまるいのか？ービジネスから“いのち”へー」をテーマに、ビジネスから宇宙のことまで幅広い視点でお話いただきました。

講演では、私達ひとりひとりが生活を変えていかないと温暖化など地球環境が悪化してしまうことや、お金を持ちになろうとするのではなく、子ども達の未来のために、教育を受けられない子ども達の教師になることを目指すなど、より良い社会にしようと活動している若者が増えていることなどを参加者へ伝えました。

参加者からは、「今まで考えたことのない広い視点からのお話で新鮮だった」や「未来のために自分に何ができるのかを考えていきたい」、「自分の価値観を変えていきたい」などの声が寄せられました。次回は、第4回を9月13日(水)、講師に半田亜季子氏(ジャーナリスト、NPO法人日本防災士会参与)、第5回を10月11日(水)、講師に吉田都氏(バレリーナ)をお招きし開催します。



市民活動団体向け研修 「市民活動×地域課題」

8月17日(木)、講師に川北秀人氏(IIHOE「人と組織と地球のための国際研究所」代表)をお招きし、「市民活動×地域課題」協働はそこにある！をテーマに市民活動団体向け研修を開催しました。研修では、参加した市民活動団体から活動内容や地域課題を聞き、長崎市の現状や将来の状況、他都市の事例を踏まえて協働の基礎についてお話しいただきました。参加者は、「行政はどのような協働相手を望んでいるのか」また、「自分たちの市民活動は周りの人から見てどのような効果があるのか」について知り、考えていくことが重要であることなどを学びました。参加者からのアンケートには、「川北さんの2回目の講座を実施してほしい」や「まだまだ勉強していきたい」などの感想のほか「自身の団体メンバーに企業や行政との協働について学んでほしい」という声もありました。



社会的課題発見講座

フツの主婦が社長になるまでの物語

8月29日(火)、講師に畠中智子氏(株わらびの代表取締役)をお招きし、社会的課題発見講座「フツの主婦が社長になるまでの物語」～ワタシにできることを見つけてシゴトを生み出す～を開催しました。講座では、講師が子育てをしている時に会ったワークショップやファシリテーションという会議手法のお話から、一次産業を応援しよう

と始めた「土佐手拭い」の開発や、「ふるさとの台所」という郷土料理本の復刻から広がった食プロジェクトのことを紹介。また、その中で出会った人とのつながりなど明るくユーモアを交えながらお話しいただきました。参加者

も、初めは緊張気味でしたが、次第に講師の話に引き込まれ笑い声や感嘆する声もあり会場はとても盛り上がりました。参加者からは、講師の「誇りをつなぐ志」という言葉とともに「人とのつながりを大切にしていきたい」という声が多く寄せられました。



ちゃんぼんミーティング

広がれ！ボランティアの輪～学生編～2017

8月30日(水)、第2回ちゃんぼんミーティングを開催しました。今回は「広がれ！ボランティアの輪～学生編～2017」をテーマに、老人ホームの夏祭りの手伝いから子ども達が参加をするイベントの企画・運営・補助など様々なボランティア活動をしている大学生や専門学校生、小学生の子ども達が参加し、ちゃんぼんを食べた後に活動紹介と意見交換を行いました。

意見交換では、参加者のボランティアを始めたきっかけ、もともと興味があって自分から参加した人や友人から誘われた人、学校からの紹介など皆さんそれぞれ違いましたが、「ボランティアで様々な経験を積むことができた」や「準備が大変だったけど楽しかった」、「またやってみたい」などボランティアをやって良かったとの意見が多くありました。次回は、9月29日(金)「子どもたちへ伝えよう！本の楽しさ・おもしろさ」をテーマに開催します。



外国人として日本の社会人の世界を体験しました

ホアン ティ ミ ハオさん(長崎ウエスレヤン大学/ベトナムから留学)

市民協働推進室では、インターンとしてベトナムからの留学生を受け入れました。ここから、本人のレポートを紹介します。

研修の内容

私は、8月17日から25日まで、市民協働推進室でインターンシップとして研修を受けました。市民協働推進室は、NPOやボランティアを応援してまちづくりを進めています。単独で難しい場合は市役所の他の所属などへ相談したり連携したりすることもあります。

様々な方との協力は大事なことだと思います。一人でできることもあります、できないこともあります。そういう時こそ皆の力が必要です。力を合わせればできないことはないと思います。

研修の間に身につけたことについて

インターンシップでは、市民協働研修へや市民活動支援補助金の審査会、市民活動団体の事業の視察に参加することができました。市民協働研修では、長崎市の現状に関する意識が強くなりました。今後、長崎市は他の市と比べても、高齢者の割合が高くなっていきますが、これからも長崎が発展を続けるためには、人口を増やすことが大事だと思います。そのため、長崎で生まれた人々に政策的に子育て支援など特別な待遇をしてあげられることも考えられます。



活動の印象について

様々な事業に参加しました。中でも「ちゃんぼんミーティング」は意義のある事業だと思いました。この事業を通して、様々な方と意見交換や交流、市民同士のネットワークづくりができます。

今回は「広がれ！ボランティアの輪～学生編～2017」というテーマで開催しましたが、私も参加者として市長と意見交換をしました。市長も外国人の意見を聴くことに興味を持っておられました。このような事業があることは、国際交流にとっても非常に良い機会になると思います。

今後も、日本人と外国人との交流の機会がもっと増えると良いと思います。

研修後の感想について

研修を受けて知ったことはたくさんありました。市の職員は厳しく怖いのではと緊張していましたが、入室の際、皆さんが素敵な笑顔で迎えてくださって、不安な気持ちが消えました。日本語能力がまだ低い私に、説明や指導をするのは大変だったと思います。

研修後、大学生のアルバイトと比べると異なることが多いと気づきました。日本の社会人の世界は大変だと思いますが、頑張っていきたいと思います。視察等をさせていただいた市民活動団体の皆さまにも、大変お世話になりました。心から感謝しております。